

令和5年度第2回（第4回）小田原市女性の活躍推進協議会 会議録

1 日 時 令和5年(2023年)8月29日(火) 午前10時00分～11時10分

2 場 所 市役所 603 会議室

3 出席者 委員 吉田眞理会長、早川潔委員、山口誠委員 3名
関係者 本木和子氏 1名

4 傍聴者 0人

5 概 要

事務局 (課長)	<p>定刻となりましたので只今から令和5年度第2回小田原市女性の活躍推進協議会を開催させていただきます。</p> <p>皆様方におかれましては、大変お忙しい中、また、お暑い中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、磯崎委員と松下委員におかれましては、本日所用のため欠席とのご連絡をいただいておりますので、ご了承ください。</p>
事務局 (係長)	<p>それでは、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(別紙 資料一覧を読み上げる)</p> <p>(委員 配布資料確認)</p> <p>不足等ございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。</p> <p>次に、本協議会の会議の公開についてですが、本協議会は、小田原市情報公開条例第24条において原則公開と定められており、また、「小田原市女性の活躍推進協議会の公開に関する要領」で、会議の公開に関して必要な事項を定めております。</p> <p>本日の傍聴希望者は、ございません。また、会議録は、小田原市行政情報センター及びホームページにおいて公開されますので、ご了承ください。</p>
事務局 (課長)	<p>それでは、会議を進めます。</p> <p>会議の進行につきましては、協議会規則第5条第1項の規定により、吉田会長にお願い致します。</p> <p>吉田会長、よろしくお願ひ致します。</p>
吉田会長	<p>それでは、</p> <p>◆議題1 「女性活躍に係る総合的な取組の推進について」答申案について検討していきます。</p> <p>この答申案については、前回、第1回の時に、事務局から出された案について検討をした結果、多くの意見が出て、もう少し時間が必要だということになりましたので、本日協議し決定するということとなっております。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願い致します。</p>

<p>事務局 (課長)</p>	<p>それでは、「<u>議題1 女性活躍に係る総合的な取組の推進について</u>」<u>答申案</u>について説明をいたします。資料1をご覧ください。</p> <p>前回の協議会でいただいたご意見を反映させたものを、事前に皆様にご覧いただきましたが、それに対し皆様からは特にご意見はございませんでしたので、吉田会長と事務局で調整をさせていただき、本日の最終案といたしました。</p> <p>それでは、答申案についてご説明いたします。</p> <p>まず初めに、構成ですが、前回お示ししたものと変更なく、「1 はじめに」、「2 審議経過」、「3 女性活躍推進の方策について」、「4 おわりに」としています。</p> <p>次に、内容についてですが、「1 はじめに」と「2 審議経過」は、当初の案から変更ございません。「3 女性活躍推進の方策について」では、前回ご意見をいただいたとおり、まず、全市的な実態を把握した上で、具体的な施策を講じたほうが良いということで、(1)として「女性活躍に関する全市的な調査の必要性」を掲げ、そこから「(2) 具体的な施策」につなげるといった形にしました。</p> <p>「(2) 具体的な施策」では、前回、皆様から頂いたご意見の中には具体的な事業名に当たるようなものもありましたが、それらは事業の内容となるよう言い換え、ご意見をおおむね反映させた形となっております。</p> <p>具体的な施策として 「ア、女性活躍推進についての広報活動強化」「イ、研修・講座等の実施方法の改善」「ウ、女性のためのキャリア相談の周知強化と活用」「エ、働く女性のネットワークの形成の促進」「オ、小田原Lエールの発展」としました。その中で、前回案の「イ、対象別研修・講座等の実施」から「イ、研修・講座等の実施方法の改善」に変更いたしました。</p> <p>各項目の中身については、新たな動きを創り出すという思いを表すべく、各項目の最初に取り組んでいていただきたい提案事項を記載しました。今後の取組がイメージできる形となっているかと思えます。</p> <p>各項目について、前回も具体的なアイデアもたくさんいただいておりますが、そのひとつひとつは答申には掲載せず、できるところから取り掛かりたいと思えます。</p> <p>最後に、「4 おわりに」は、大きく変更はありませんが、職業生活だけでなく、家庭や地域等あらゆる場における女性活躍を推進し、誰もが生き生きと働き暮らすことのできるまちを目指していただきたいと、結びました。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
<p>吉田会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局より説明いただいた答申案について、事前にご覧になっていたものから、言い回しが少し変更になっている部分もございました。私も、前回の議事録と突合しましたが、話し合われた内容がとてもスマートに入って、すっきりまとまっていると思いましたが、今の説明にもありましたように、文章の並びを変えたことによって少し強く主張ができた形になっているかと思えます。</p> <p>全体的には、特に異存はないということだと思いますが、何か、ご意見があれば伺いたいと思えます。例えば、(1) 女性活躍に関する全市的な調査の必要性について、認定企業へのアンケートや、市民意識調査を全市的に実施とありますが、いかがでしょうか。</p>

	<p>このアンケートを実施する際には、来年度業者委託をして実施するという感じでしょうか。なるべく早い方が良いと思いますが、そのあたりは市長に答申してからになりますでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>何らかの形で実施はしていきたいと思います。業者委託、もしくは広報のシステムを活用するというところもあるかもしれません。</p>
本木委員	<p>答申に盛り込み、アンケート等を実施するというのであれば、すぐに実施することが良いと思います。来年度調査し、再来年度の施策に生かすということでは、その間に世の中は動いていってしまうと思うので、スピード感をもってやっていただきたいと思っています。</p>
早川委員	<p>検討させていただきます。</p>
本木委員	<p>また、何を明らかにしたいのかということも重要です。</p>
吉田会長	<p>そうですね。どんなことを明らかにするために調査するかということは重要です。この答申案からも、課題は何なのかを明確にしていきたいということがあるので、認定企業においては、女性活躍推進に向けて何がハードルになっているのか、管理職への女性の登用についてのハードルは何かなど、明らかにしていきたいですね。また、女性社員が管理職になりたくないと思う人が多いと聞いています。そのことについて現場の方に聞いて施策を考えていくことも必要かと思っています。</p> <p>男女共同参画に関する市民意識調査のように、大々的なものでなくてもよいかと思っています。</p> <p>もし企業に調査をするということとなると、小田原市内の企業では、どのようなところに調査をしたらよいでしょうか。</p>
山口委員	<p>女性従業員がとても多く、女性の管理職も多い花王さん、それから印刷局などがいいと思います。管理職でなくても女性が発言をする場面があるかと思っています。人数だけ増えればよいというものではないですが、管理職とは負担が多いというような思い込みもあるかと思っています。小さなステップアップとして積みあがっている感覚があるといいと思います。企業トップや経営層の意識変革が求められると思います。</p>
吉田会長	<p>女性の管理職の登用についてうまくやれているところの情報を共有するといったことも必要ですね。</p>
山口委員	<p>今日もこれから会議があり、小田原Lエールについて申請をしてほしい、更新もしてほしいということを発言するつもりです。そこでポジションとして管理職の手前のステージなどがあるかなど、聞いてみたいと思います。</p>
吉田会長	<p>何が課題なのかを明確にし、来年度の事業に反映できるよう調査をしてほしいということです。</p>
本木委員	<p>社会に影響を与えることができる、意識を変えることができるというようなことは、市がやるべき政策なのではないかと思うのです。</p> <p>地域社会での意識改革も必要でしょう。風土みたいなものも、女性の活躍に影響を及ぼします。そういう意味において、調査が有益なのではないでしょうか。何が阻んでいるかを知ることは非常に重要だし、もしかすると、何も“阻んでいない”のかもしれない。調査はそういったことを知るきっかけになります。アンケート自体が意識改革の</p>

	意味を持つこともあると思います。
吉田会長	決定する立場に女性がいるということについて、市民がどう思うかということも聞いてみたいですね。アンケートが、世の中は変わってきているんだなと感じるものとなると思います。
山口委員	今ここで協議されているのは、仕事を通しての女性活躍を中心に議論されていますが、地域の中でも、子供会や自治会、PTAなどでも女性がリーダーシップをとって、動かしている場面は多いと思います。そういった形の女性活躍も忘れてはならないと思います。アンケートも企業に求めるものと、地域に求めるものがあるのではないのでしょうか。
吉田会長	<p>地域の中でどんな女性活躍があるかということにも目を向けなくてはなりませんね。リーダーシップとは、職に就いているものだけにあるものではなくて、実際に物事を動かしているという部分にもありますので、そういった部分も浮き彫りになるといいですね。</p> <p>また、最近の傾向として、地域での活動と仕事というのがとても近く、境があいまいになってきていると感じます。女性たちが地域で活動していたことを、起業し法人化していくということもよくあります。そういったところは、逆に男性も巻き込んで男性の声も聞くように努める必要があるということもあります。性別が偏らないでやれる形がいいですし、地域で培った力は本当に社会で生きてきます。</p> <p>小さい調査、対象別の調査をやってほしいですね。総花的でない方がわかりやすいかもしれません。地域で活躍している人もたくさんいると思うので、それを示せるとよいと思います。来年の施策を効果的にするために、なるべく早く実施してほしいと思います。</p> <p>そのほか具体的な施策について何かございますか。</p>
本木委員	女性の管理職登用ですが、やはり先輩がいませんよね。市内の企業の多くは中小企業であり、と答申にもありますが、優秀な女性従業員はいるだろうし、誰だって潜在的には力を持っていると思います。しかし、ロールモデルがないので、活躍している女性がどんなものかわからない、見たことがない、そういったことがあるのだと思います。だからこそ、この答申にある「エ 働く女性のネットワーク形成の促進」は重要なことだと思います。市が場を提供するばかりではなく、企業も自社の社員を育てるという意味でも、さらに取り組んでほしいと感じます。オール小田原でやりましょう、というように思い、そんな仕組みがしっかりとできていくとよいと思います。
山口委員	<p>今の本木委員のお話のような考えを持つ人を増やすということが重要だと思います。現職の中で、横展開がとても薄いと感じています。一人の人が私の話を聞いてくれても、社へ帰ってそれを展開することがないということもよくあります。</p> <p>また、副業などを通じて、大企業の人材を中小企業へ送って、働いてもらうというような人材交流などもあっていいと思います。中小企業では事業継承ができないという悩みもあります。一つの企業だけではなく、市内全体に還元していくような、そういった感覚を事業主には持ってもらい、人材を育ててほしいと思います。</p> <p>あきらめずに取り組んでいきたいという気持ちです。</p>

	<p>先ほどのアンケートについても、小田原Lエール認定企業、地域など対象別に、せめて20項目くらいの設問で簡単なものを実施してほしいと思います。対象別に行い、見えにくい本音の課題というものを明確にできたらと思います。</p>
吉田会長	<p>人事交流ということでは、女性の管理職や、女性活躍が進んでいる会社とそうでないところの交流も有効かもしれません。自社もやれるんだということが見えてくるとよいですね。男性が作ってきた社会ですから、現状の社会的課題を突き崩していくためにはやはり半数近く、女性がいないと変わっていかないと思います。</p> <p>それでは、ご意見も尽きたようですので、これで、答申案を確定させていただきますが、皆様、よろしいでしょうか。</p>
事務局 (係長)	<p>一つ訂正をさせていただきます。答申案の1ページの一番下ですが、「5月9日に開催されました第3回目の・・・」を「8月29日に開催されました第4回目の・・・」と修正をお願いします。</p>
吉田会長	<p>それでは、修正したもので答申を確定をしてよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(了承)</p>
吉田会長	<p>答申について、この後はどのような動きになるか、事務局、説明をお願いできますか。</p>
事務局 (課長)	<p>本日、答申について確定をしていただきました。ありがとうございます。市長への答申は代表で吉田会長にお願いしたいと思っております。日程については改めて調整をさせていただきますが、9月中・下旬ころまでにできればと考えております。</p>
吉田会長	<p>わかりました。それでは、皆様を代表して市長に答申をお渡ししたいと思います。</p>
吉田会長	<p>それでは、議題2 令和5年度女性活躍推進事業(経過報告) に移ります。 事務局説明をお願いします。</p>
事務局 (係長)	<p>それでは、議題2 令和5年度女性活躍推進事業(経過報告) について、事務局から説明いたします。</p> <p>令和5年度の事業全体について、前回ご案内させていただきましたので、いくつか現在の状況について情報提供させていただきます。</p> <p>まず、小田原Lエールですが、7月1日から申請受付が始まりました。申請や問い合わせを含め、十数社とやり取りをしております。</p> <p>更新申請については、更新の対象は令和3年度の認定企業で、20社ですが、ご案内したところ、更新を見送るという連絡はいただいておりませんので、全社が更新の見込みだととらえております。</p> <p>締切は9月末となっております。</p> <p>改めてご案内いたしますが、認定式は11月14日開催を予定しておりますので、どうぞご出席いただけますよう、お願い致します。</p> <p>また、小田原Lエール認定企業を対象とした事業については、先日、皆様にもご連絡をさせていただきましたが、広報8月号の特集記事と合わせて、市のホームページに認定企業トップインタビュー記事を掲載しました。また、ハルネ小田原でパネル展を開催いたしました。パネル展は今年度3回目となります。</p> <p>また、明後日の8月31日には、働く女性の交流会である「はたらく女子会@ラボ」も開催します。そのほか、セミナーのチラシ等をお配りさせていただいております。</p>

	<p>それから、女性活躍推進のアドバイザー派遣事業です。これは、皆様ご存知のとおり、小田原Lエールの申請や、ステップアップ、今後の女性活躍推進の取組を進めるためにアドバイザーを派遣するもので、本木委員にアドバイザーをお願いしているものですが、現在、2社から申し込みがあり、1回目の訪問が済んだところです。他からも派遣を検討しているという連絡も入っておりますので、引き続き本木委員に、お願いをしていきたいと思ひます。</p> <p>また、「女性のためのキャリア相談」については、本日現在の相談件数は18件です。複数回通われ、就職に結びついたかたや、キャリアプランを作るという方もいらっしゃいます。引き続き周知に努めていきたいと思ひます。</p> <p>説明は以上です。</p>
吉田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま事務局から説明いただいた、令和5年度女性活躍推進事業（経過報告）について、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。</p> <p>本木委員、アドバイザー派遣のご感想や実情など教えていただけますか。</p>
本木委員	<p>今年度は、まだ一回しか訪問をしていないので、何とも言えませんが、少なくともこの制度、仕組みを活用できてよかったと言っていましたので、もっと広く皆様に知っていただき、ご利用いただけたら良いと思ひます。</p>
吉田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ご発言も尽きたようですので、次に移ります。</p> <p>議題3 その他 について、何かございますでしょうか。</p>
事務局 (課長)	<p>本日も、皆様からアンケートはじめいろいろご提言等いただきました。ありがとうございます。よい良い形になるよう事務局も検討してまいります。皆様におかれましては、令和4年度から2か年の任期ということですが、本協議会では毎回、活発なご議論をいただき、本日答申も固まりました。今年度はまだ、あと半分残っておりますが、会議としては本日が最後となります。本当にありがとうございました。</p> <p>年度後半の事業や、秋の小田原Lエールの認定式などは、また、ご案内をさせていただきますので、引き続きお力添えをいただけますようお願い申し上げます。</p>
吉田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、以上をもって、本日の議事はすべて終了いたします。</p> <p>本日も、円滑な議事進行にご協力をいただきましてありがとうございました。</p> <p>お疲れ様でした。</p>

以上